



自治連だより

第43号

令和元年9月10日

発行：伊丹市自治会連合会

編集：広報委員会



代掻き

昆陽南公園 田園ビオトープ活動

昆陽里ブロック

昆陽里小学校地区自治協議会

ビオトープとは：

生物が自然な状態で生息している空間。水辺の生態系を人工的に再現した場所のこと。

みんなで考え、育ててきた公園

ービオトープや苗圃（びょうぼ）など、魅力的な公園ですねー

矢野：市が昆陽里地域の公園を整備するときに、近隣住民でワークショップなどを行い、整備計画案を作りました。ビオトープをつくるにあたっては、工事にも参加しました。完成後は、住民で組織する公園管理委員会により、公園の維持管理を行っています。

ービオトープを活用し、どのような活動をなさっていますか？ー

矢野：幼稚園、小学1、2年生では代掻き（しろかき）、3、4年生では田植え、5、6年生では稲刈りと、小学校卒業までに米作りの一連の作業を体験できるようにしています。このようなイベントは珍しいので、子どもたちには貴重な経験となっているのではないのでしょうか。収穫したもち米は、幼稚園・小学校での餅つき大会などで使用してもらっています。そのほか、案山子（かかし）コンテスト、幼稚園児によるじゃがいも・玉ねぎの収穫体験など、田園ビオトープを活用して食育や自然学習を行っています。



田植え



玉ねぎ収穫



インタビューにご協力いただいた皆様
（公園の清掃活動後に撮影）

後列左から 白井（啓）さん、根岸さん
前列左から 坂本さん、白井（孝）さん、矢野さん、
桑波田さん、高田さん

地域の子どもたちのために

ーどのようなことで苦労されていますか？ー

白井（孝）：水の管理、草抜き、案山子の設置等、水田の日常の管理が特に大変ですね。しかし、手をかけた分だけ、子どもたちが収穫する作物の出来もよくなりますので、やりがいがあります。

ー最後に今後の展望について教えてくださいー

矢野：この取り組みは、地域の農家の方や様々な方の協力がなければ、成り立ちません。参加した子どもたちや保護者から、「米作りって楽しい」「自然を大切にすることになった」「たくましくなった」といった声をたくさん聞きます。今後も子どもたちが貴重な体験をできるように、地域で力を合わせて、この取り組みを継続していきたいと思っています。



鴻池地車 (だんじり) 保存会

鴻池ブロック

鴻池地車保存会

会長 寺西 由幸（よしゆき）さん

五穀豊穡に感謝しながら、 地域とのふれあいや交流を大切に！

－鴻池地車保存会を設立したきっかけは？－

寺西：鴻池神社の秋祭りが18世紀中頃に誕生し、五穀豊穡を感謝する収穫祭として開催されていました。鴻池の地車は明治時代に現在の宝塚市小浜地区より譲り受けました。地車は平成14年度に改修し、地域のふれあいや交流を図る場として現在に至っています。歴史と伝統の保存・継承のために、昭和51年に「鴻池地車保存会」を設立しました。

－どのような活動をされていますか？－

寺西：鴻池神社で開催される秋祭りをメインに活動しています。地域のふれあいや交流を目的として、河川の清掃活動や自治会の祭りなどにも積極的に参加しています。年末には、鴻池神社の福火当番にも参加し、地域の方々と一緒になって盛り上げています。

歴史のある伝統行事を 継承するために！



鴻池地車保存会の二次元コード→



鴻池地車保存会HP



天皇即位記念地車曳行（令和元年5月1日）

－保存会を継続するにあたり苦労されていることは？－

寺西：一番の苦労は、若手育成です。今まで子ども会については、地車に参加することができましたが、中学・高校時代は部会がなく、加入ができませんでした。数年前からは青年部を立ち上げ、若手加入や育成に力を入れています。

－今後の展望について教えてください－

寺西：今年は、天皇即位記念で地車の曳行を実施しました。参加された方からは大きな歓声や声援をいただくことができました。現在、鴻池地車保存会の加入者は約110名ですが、高齢者も多くなってきました。今後は歴史ある伝統行事を継承できるよう、若手育成にも力を入れ、歴史ある鴻池の地を盛り上げていきたいと思っています。



2019年度 定期総会開催

令和元年5月29日、スワンホールにおいて、2019年度伊丹市自治会連合会定期総会を開催し、事業計画案、予算案をご承認いただきました。事業計画案に基づき、当連合会では今年度検討事項として、①新たな組織体制における当連合会の在り方について②自治会活動支援について取り組んで参ります。

また、退任される自治会長等への表彰も併せて行いました。



新任自治会長研修会



令和元年5月16日、新任自治会長研修会を開催しました。この研修会は、地域や行政の組織、自治会長が知っておくべき役立つ情報等について学ぶ場として、新たに自治会長になられた方を対象に、

平成27年度より開催しています。

参加者の皆様からは、「参考になり、参加してよかった」等の声が聞かれました。来年度以降も引き続き内容を見直しながら、より良い研修となるように努めていきます。

自治会長交流 グラウンドゴルフ大会



令和元年6月1日、伊丹小学校校庭にて、自治会長交流グラウンドゴルフ大会を開催しました。天候にも恵まれ、大会中には、多数のホールインワンも飛び出し、大いに盛り上がり、楽しい交流の場となりました。

榎木会長「平成31年兵庫県功労者表彰」を受賞

令和元年5月3日、県功労者表彰が開催され、榎木会長が県功労者表彰（受賞者230名、22部門）のうち「地域活動功労」を受賞されました。

地域活動功労は、永年にわたり兵庫県連合自治会の役員として自治会活動を通じて活力ある地域づくりに尽力された功績を称えられて表彰されたものになります。

榎木会長おめでとうございます。



“各地域の活動”を市HPや市Facebookに掲載しています。

地域活動を広報するため、市HP（ホームページ）及び市Facebookに各地域の活動を掲載しています。

掲載を希望される方は、市まちづくり推進課（市役所1階、TEL：780-3533）まで情報のご提供をお願いします。

※掲載対象は、自治会・地区社協等の地域団体の活動や広報誌となっております。個人の活動はご遠慮下さい。

市HP（ホームページ）へのアクセスは

伊丹 各地域の活動

検索

市Facebookへのアクセスは

伊丹 Facebook

検索

「第28回伊丹ふれあい夏まつり」が開催されました。

（令和元年7月27日・28日）

令和元年7月27日（土曜日）、28日（日曜日）の両日、伊丹小学校校庭に市民会館が主体となった伊丹ふれあい夏まつりが開催されました。夏まつりには、伊丹市を元気に「伊丹市」が伊丹小学校校庭に開催されました。土曜日は雨が降り、開催時間短縮もありましたが、夕方に天候が持ち直し、予定通り2日間開催することができ、多くの市民が参加しました。伊丹市民会館による踊りやカラオケの大会、北中学校校庭に於ける音楽会など多岐多様なイベントがあり、会場は大いに盛り上がりました。また、今回初めての取り組みとして「伊丹市水防隊」も参加しました。特別ゲストとして、土曜日は日本テレビ「踊り場」で出演したシンガーソングライター・宇野重吉さんが、日曜日はNHK「おひさしなごころ」の司会を務める伊丹市出身の歌手・伊丹山本が出演されました。日中さんは4年連続の出演で、市内の夏まつりの定番曲「ビューティフル・サンデー」の他、「おひさしなごころ」の「おひさしなごころ」などを披露され、会場は大いに盛り上がり、感動の一瞬となりました。



【写真上】
市HP（ホームページ）での掲載

【写真下】 市Facebookでの掲載



自治連会長・各ブロック長よりメッセージ

今年度の活動方針について

自治会長はじめ役員の皆様、自治会員の皆様には、平素から地域活動にご理解・ご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、令和元年5月29日、2019年度伊丹市自治会連合会定期総会を開催し、新年度のスタートを切りました。昨今、役員の担い手不足等の理由により自治会運営に苦慮され、担い手の確保などに奔走されている自治会長もおられます。当連合会といたしましても、自治会活動への支援について検討を進めるとともに、各種事業等を通じ、自治会長の皆様を支援するなど、地域コミュニティの発展に尽力してまいります。

また、各小学校区における地域自治組織の設立状況等を見据え、情報発信及び情報共有等、各小学校区組織との連携を強化するため、委員会数の削減等、組織体制の見直しについて検討を進めてまいりたいと考えております。

最後に、本年度は「平成」も終わり、新たな元号「令和」となりました。当連合会におきましても、これまでの取り組みを継続しながら心機一転、自治会活動への支援に益々、注力してまいりますので引き続き、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



伊丹市自治会連合会
会長 榎木 光夫
(天神川ブロック 鶴田自治会長)



佐々木 憲治
(伊丹ブロック・光明町自治会長)

令和の新しい年を迎え、さらに地域の皆様のためにお役に立てる様頑張ります。中でも、伊丹ブロックの特色ある2事業をご紹介します。

1点目は、「伊丹ふれあい夏まつり」です。第28回を迎え「伊丹っ子みんなでつなぐ地域の輪」をテーマに伊丹っ子の想い出作り、三世代交流、地域活性化を目指し、多くの来場者の方に喜んで頂きました。

2点目は、子ども食堂です。地区の「伊丹っ子だんらん食堂」に加え、10月から「あじさい食堂」をオープンします。家庭・学校以外の第三の地域の居場所として、子どもたちや高齢者の方にご利用いただきたいと思います。



伴 博夫
(有岡ブロック・湊町自治会長)

本年度は地域住民が参画し「住民主体のまちづくり」を目指す「地域自治組織」への移行の年であり、現在「地域ビジョン委員会U65」を中心にビジョン策定に向け議論を重ねています。

重点取組事業として古代より人の往来、産業で栄えた「猪名」の地域であった有岡の地理的特性、自然、歴史等の活用による地域起こし、三世代参加の交流事業、駅周辺の環境を守る啓発活動、通学路の整備、安全対策等を進め、安全・安心・清潔であたたかなまちづくりを目指しています。



岩田 武司
(稲野ブロック・千僧自治会長)

昨年度地域自治組織となり、1年かけて地域ビジョンを策定しました。少子高齢化や災害対策など、様々な課題はありますが、「出会い・ふれあい・助けあい 世代交流の街 いなの」のスローガンのもと、安心して暮らす地域の実現に向けて、地域ビジョンに基づいた事業を展開してまいります。ご協力よろしくお願ひします。



常澤 辰晃
(摂陽ブロック・第二美鈴自治会長)

少子高齢化が急速に進むなか、「助け愛センター」を核にして、お互いに「支え合い」「助け合い」「繋がり合う」ことを目的とし、安心して住める町づくりを目指しております。

昨年より始めた、ゴミ出し・植木の剪定・電球交換等サービスの有料化と、空き家を利用した高齢者の居場所づくりの「健康マージャン」「俳句の会」を軌道にのせ、更に福祉の充実を図っていきたいと考えております。



池田 博一
(南ブロック・若菱自治会長)

南小学校地区まちづくり協議会は、現在構成団体数22団体、その内自治会数は12自治会で構成されています。

協議会の組織力は、各々の担当部署が南小地区フェスタ・夏祭り、三世代グラウンドゴルフ大会、ふれあいバス旅行、自主防災訓練などの事業を責任をもって計画運営を実施し、12自治会の確立した組織力で成り立っています。「地域はひとつ」をテーマに南小学校地区まちづくり協議会そして自治会の発展を自治会長はじめ理事、役員、地域の皆様の協力を得て進めていきたいと考えております。

自然災害への備えにぜひご加入を！ 兵庫県住宅再建共済制度（＝フェニックス共済）

住宅再建共済制度

家財再建共済制度

定額給付で安心！

区分	負担金	被害認定	給付金
住宅再建共済	年額5,000円	半壊以上	最高600万円
	年額500円追加	一部倒壊 ※2	最高25万円
家財再建共済 ※1	年額1,500円	床上浸水 以上	最高50万円

※1 住宅再建共済と家財共済の両方にご加入の場合、最大500円負担金が割り引きになります。

※2 損害割合10%以上



お問い合わせ先

フェニックス共済

検索

(公財)兵庫県住宅再建共済基金 ☎078(362)9400 (平日9時～17時)

阪神北県民局フェニックス共済担当 ☎0797(83)3122 (平日9時～17時)